

## 「公認スポーツファーマシスト認定制度」事業強化のため 大塚製薬株式会社との連携継続について

2019年7月23日

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（以下、JADA）は、2016年2月に公表の通り、「公認スポーツファーマシスト認定制度※」において、大塚製薬株式会社（以下、大塚製薬）から公認スポーツファーマシストへの資料製作や研修会での情報提供の支援を頂くなど、事業強化における連携を進めております。

そしてこのたび、国際競技大会での日本人選手の活躍や、昨今の国内におけるドーピング問題を受け、アンチ・ドーピングに関する情報提供のさらなる充実が求められることから、引き続き公認スポーツファーマシスト認定制度の事業強化を目指し、大塚製薬との連携を継続することとなりました。

連携して行う具体的な領域は以下の通りです。

- 国際基準冊子の製作  
毎年改定される禁止表国際基準を中心に、その製作に関する支援。  
製作した国際基準は、公認スポーツファーマシストへ配布され、活動における重要な資料となっています。
- 研修会の開催  
大塚製薬のインフラを提供頂き、公認スポーツファーマシストのための研修会を実施（Live On Seminar）。  
国民体育大会や禁止表国際基準など、季節毎のテーマで年3回開催し、公認スポーツファーマシストの知識のアップデートや実践的な情報を得る機会となっています。



JADA と大塚製薬は、公認スポーツファーマシスト認定制度の事業強化、発展を通して、国内におけるアンチ・ドーピング・ムーブメントを推進し、フェアでクリーンな環境で生まれるスポーツの価値の発展に貢献して参ります。

(※) 公認スポーツファーマシストとは、アンチ・ドーピングのルールに係る最新で正確な情報・知識を取得した薬剤師。薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行い、アンチ・ドーピング活動の推進を主な活動としています。  
JADAでは、アンチ・ドーピング活動の一環として薬剤師を対象とした「公認スポーツファーマシスト認定制度」を2009年4月より開始し、2019年4月には認定者数が9,530名となりました。

詳細は、(<http://www.playtruejapan.org/sportspharmacist/>) をご覧ください



＜本件に関する問い合わせ＞  
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構  
経営企画室 (media@playtruejapan.org)